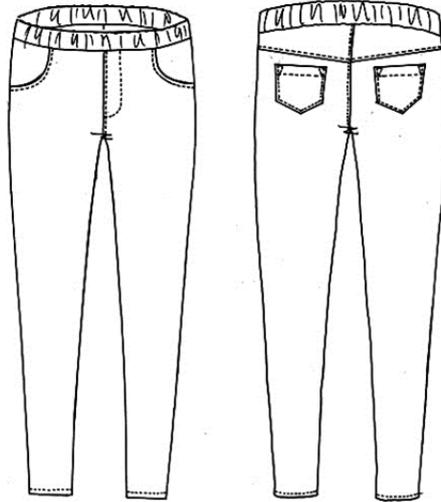




SB79

スタイルアップパンツ

Style up pants



個人利用目的以外での複写や、転売等をご遠慮ください。

Please do not copy and resell

パターンショップ Shell button <http://www.shellbutton.net/>

Copyright(c)2009- pattern shop Shellbutton all rights reserved

縫い代について

パターンは全て縫い代込になっています。

パターン内にある○で囲んだ数字は、縫い代を表します。

その数字文、出来上がり線から縫い代を足して、型紙を作成しています。

■ サイズ選びについて

ウエストが総ゴムのパンツです。

そのため、ウエストの調節が着られる方に合わせてお作りいただけます。

ですので、ご使用の生地や好みに合わせて、サイズをお選びいただけます。

* ポリウレタン混の生地（伸びる布帛）をご使用の場合は、サイズ通りにお作りいただけます。

（ストレッチ素材の場合は、ご自身のヒップサイズよりパンツのウエストサイズが大きければ履けます。）

* 伸びない通常の布帛生地をご使用の場合は、ワンサイズ～2サイズ上でお作り下さい。

（伸びない布帛の場合は、ご自身のヒップよりパンツのヒップが10cm以上大きいサイズをお選びください）



パターンショップ Shell button <http://www.shellbutton.net/>

Copyright©2009 pattern shop Sh-ellbutton all rights reserved

出来上がりサイズ・必要用尺

【 単位：cm】

	総ウエスト	ヒップ	前股ぐり	後股ぐり	わたり幅	股下丈			用尺 (注1)
						クロップド丈	アンクル丈	フルレングス丈	
S	86	92	24.3	36.4	56	54	67	75	200
M	90	96	25	37.4	58.7				200
L	96	101	26	39.4	62				210
LL	101	107	27	40.9	65.2				210
3L	107	113	28	42	68.7				220
4L	114	119	28	42	72.1				220

注1.) クロップド丈の場合 … -30cm で足りません。

アンクル丈の場合 … -20cm で足りません。

その他必要な物

■スレキ … 縦25cm × 横40cm

■接着芯 … 20cm (見返し用)

■伸び止めテープ … 50cm (前後ポケット口用)

■ウエスト用ゴム … 3cm幅の平ゴム 70~90cm (ご自身のウエストサイズ+5cm程度)

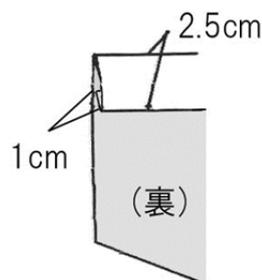
縫い方手順

🔸 端処理は、縫い代をロックミシン及びジグザグミシンで処理することです。

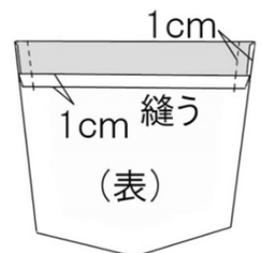
🔸 コバステッチ(CS)とは、端から3mmぐらいまでの所かけるステッチのことです。

1 後ろポケットを作り、縫い付けます。

- ① ポケット口に接着心を貼ります。
- ② アイロンで1cmと2cmの三つ折りにします。
- ③ さらに、ポケットの周囲を1cm折ります。ベース型のため、上端(ポケット口部分)が飛び出ますが、大丈夫です。

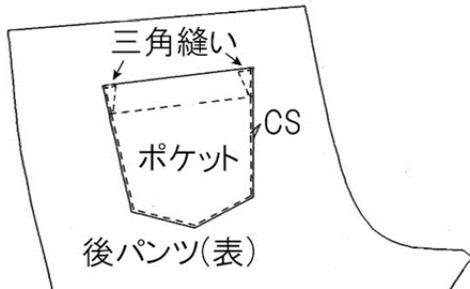
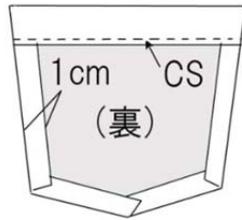


- ③ ポケット口をアイロンで折った折り目とは逆に折り返し(表側に折り返し)、1cm幅の所を縫います。表に返し、角を綺麗に出します。



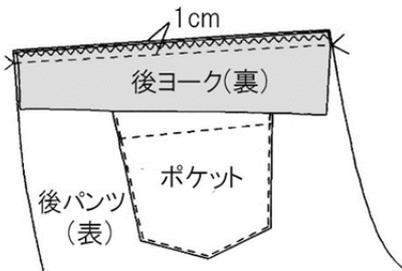
④ポケット口を、コバステッチ(以下CS)で縫い押さえます。

⑤後パンツのポケット位置にポケットを合わせCSで縫いつけます。ポケット口は、三角縫いします。

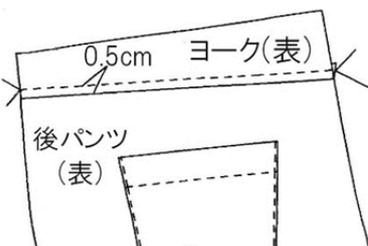


2.後ヨークを縫い合わせます。

①ヨークと後パンツを中表に合わせて縫い合わせます。縫い代は、2枚一緒に端処理をして、ヨーク側に倒します。



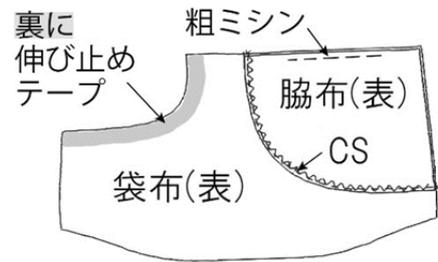
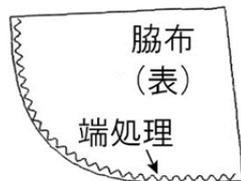
②表から0.5cm幅でステッチをかけて、縫い代を押さえます。(縫い代を向ける方向は、上下どちらでも構いません。)



3.前ポケットを作ります。

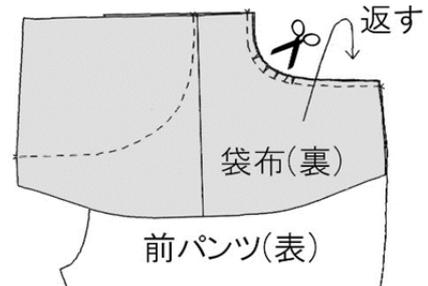
①脇布のカーブ部分を端処理します。

②脇布の表を袋布の表に重ねて①で端処理した所をCSで縫い止めます。脇布がめくれない様、上側を粗ミシンで少し縫いとめておきます。ポケット口(裏)に、伸び止めテープを貼ります。(右上挿絵参照)

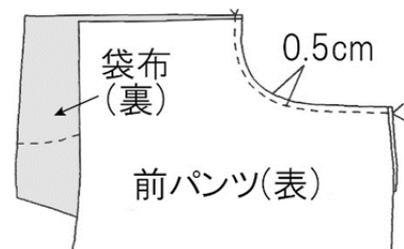


③前パンツと袋布を中表に合わせて、ポケット口を1C巾で縫い合わせます。

カーブのきつい所に切り込みを入れて、袋布を前パンツ裏側に返し、ポケット口をアイロンで整えます。

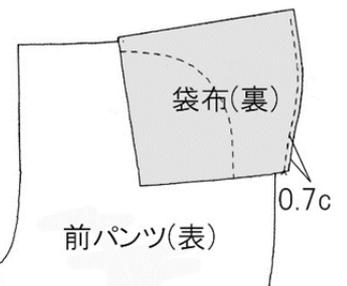
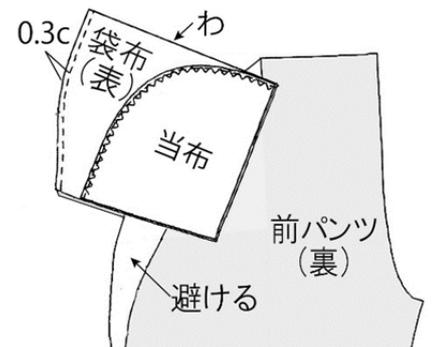


④袋布が表から見えないように控えるようにして、アイロンで整えます。ポケット口に0.5C巾でステッチをかけ、落ち着かせます。

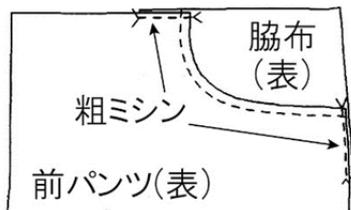


⑤袋布を中裏になるようにして半分に折り、0.3C巾で袋布の底を縫います。

⑥袋布をひっくり返し、中表に合わせて、底を今度は0.7C巾で縫います。⑤の縫い代が中に入り、袋縫いになります。



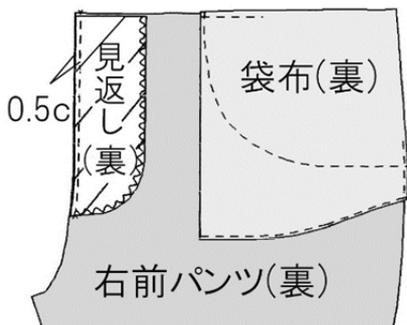
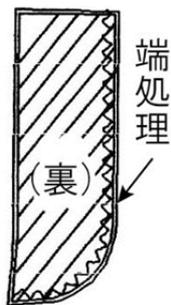
⑦前パンツと袋布が重なっている部分に0.5C巾で粗ミシンをかけ、仮止めします。



4.前股見返しを縫い付けます。

①前股見返しの裏に芯地を貼り、周囲を端処理します。

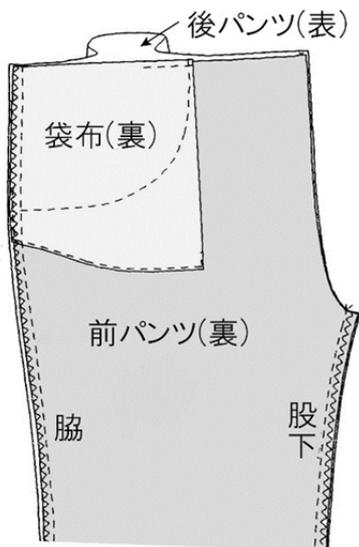
②右前パンツ裏に前股見返しの裏面を上にして乗せ、0.5C巾で仮止めミシンをかけます。



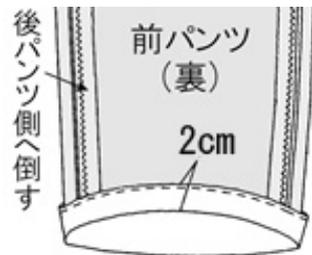
5.前後パンツを縫い合わせます。

①前後パンツの裾を、アイロンで1cmと2cmの三つ折りにします。

②前・後パンツを中表に合わせて脇と股下を縫い合わせます。縫い代は、2枚合わせて端処理し、後パンツ側へ倒します。



③パンツの裾を①で折ったように折り返し、CSで縫いとめます。



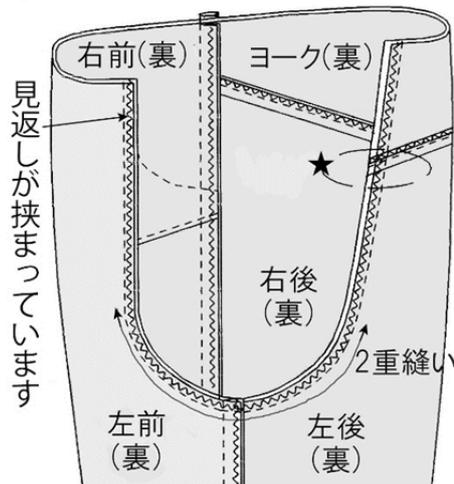
④片方のパンツを表に返し、中表になるように、片方のパンツにもう一方のパンツを入れ、股ぐりを縫い合わせます。
※左右ヨークがずれない様、きっちり合わせて下さい。(挿絵★位置)

♪POINT♪

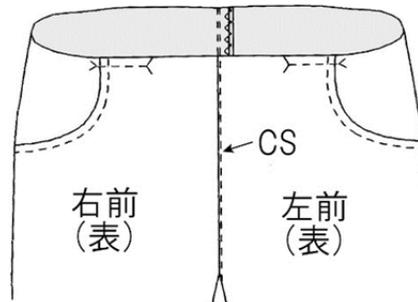
股からヒップにかけては、生地を引っ張って伸ばしながら縫うと、履いた時の糸切れを防げます。

補強の為、股下前後15c程度は、細かいミシン目で同じ所をもう1度縫います。

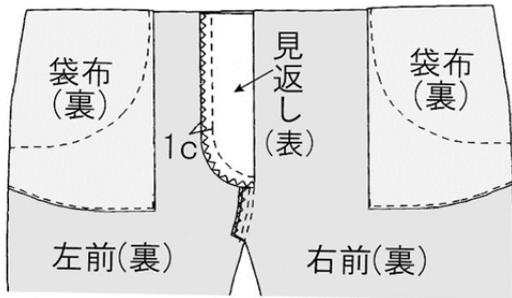
縫い代を2枚一緒にして端処理します。



⑤縫い代を左パンツ側へ倒して、表からCSで押さえます。※見返しは右パンツ側に倒しておいてください。



⑥見返しを右パンツ側へ倒し、CSで縫いとめます。



6.ベルトを付けます。

①ウエストベルトを縦長半分に折り、アイロンを当てます。

②ウエストベルトの前パンツ側が左手に来るようにして置いた時、下側になる方を1cm折り返して、アイロンを当てます。

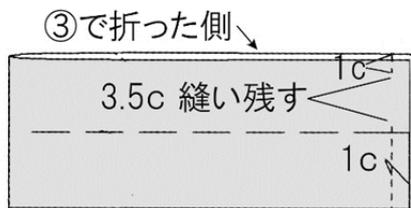


③ウエストベルトを①で折ったように半分に折り、もう片方は、先程折り返したところをくるむように折ってアイロンを当てます。



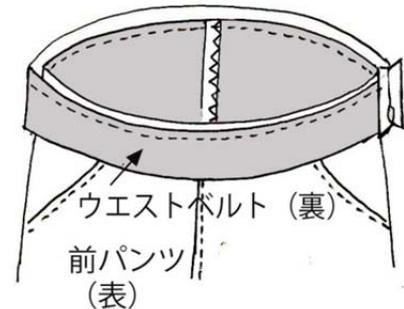
④ウエストベルトの左右端を中表で合わせ、縫い合わせます。

この時、ゴム通し口ができるよう、かぶせて折った側を3.5cm縫いこめます。



⑤パンツのウエストと、②で1cm折り返した側（ゴム通し口を作った方では無い側）のウエストベルトを中表で合わせます。パンツの左脇とウエストベルトの縫い合わせ目を合わせ、その他合印も合わせ、一周縫います。

※ベルトループを縫付ける場合は、ここで縫い付けます。↓の「ベルトループを付ける場合」参照



⑥ウエストベルトを半分に折り返し、⑤の縫い代を挟んで、表からCSで押さえます。

裏側のベルトのミシン目が落ちないように、細かくマチ針を打つと縫いやすいです。

ウエストベルトの上端にもCSをかけ、落ち着かせます。

⑦ゴムを通し、ゴムの両端を1.5cm程重ね、ミシン目がZ字になるようにかけ、縫い留めます。出来上がりです。

ベルトループを付ける場合

1.ベルトループを作ります。

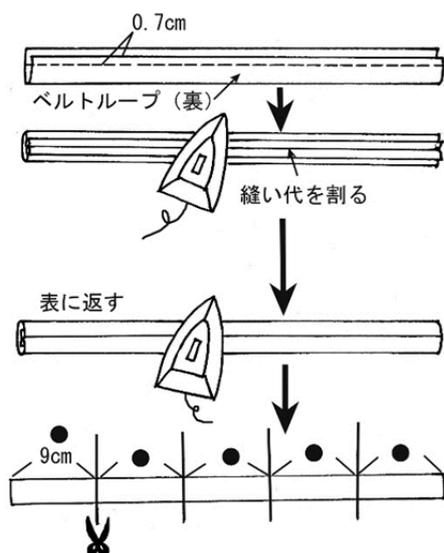
ベルトループを中表にして、0.7cmの縫い代で縫い合わせ、細長い筒状にします。

アイロンか爪先で縫い代を割って表に返し、縫い合わせが中央に来るようにアイロンで整えます。

ループ返しを使うと簡単にできます。

(次ページ挿絵参照)



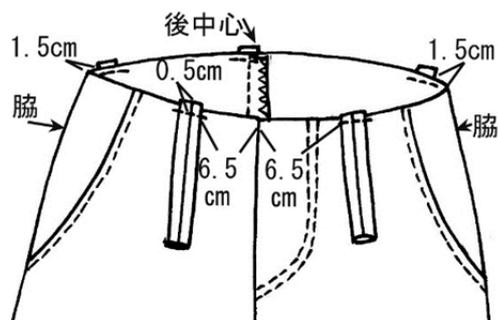


2.ベルトループを縫い付けます。

①手順6「ベルトを付ける」工程の④の後、ベルトループを縫い付けます。

ベルトループを、パンツのウエストの表側に裏向き（縫い合わせたラインが上に向くよう）において0.5cmの縫い代で仮止めします。

ループを付ける位置は、前中心から6.5cm（3L、4Lは8cm）外側へ左右それぞれ各1本、後中心に1本、脇線から後へ1.5cmの所に左右それぞれ各1本、計5箇所です。（全サイズ共通の数値です。）



②手順6「ベルトを付ける」工程の④へ戻り、ウエストベルトを付けます。

③ウエストベルトが付け終わったら、ベルトループを上向きに折り上げ、その上端を1cm折り返し、上から数回返し縫で押さえます。

ループ幅よりも少しはみ出すようにミシンで押えると取れにくくなります。

下端も同じ様に数回返し縫をしミシンで押さえます。

